

Ⅸ エビデンス・ベース（客観的指標）による評価【公表対象18件】

局名・事業名	取組内容
主税局	
1 大田都税事務所	老朽化した現庁舎について、区施設と合築して土地の有効活用を図り、事業の妥当性を検証の上で現地改築の設計に着手
オリンピック・パラリンピック準備局	
2 東京スタジアム	ラグビーワールドカップ2019及び東京2020大会に向け、事業の妥当性を検証し、バリアフリー改修工事等に着手
3 有明アリーナ	東京2020大会に向けて整備する本施設の運営について、妥当性を検証の上でコンセッション方式を導入し、都民サービスと収益の向上等を実現
4 新規恒久施設	東京2020大会に向けて整備する5施設の運営について、妥当性を検証の上で指定管理者制度を導入し、利用者サービス向上と管理の効率化を実現
福祉保健局	
5 立川福祉保健庁舎	老朽化した現庁舎について、施設の利便性向上に向け、事業の妥当性を検証の上で現地にて改築工事に着手
産業労働局	
6 東京しごとセンター	老朽化した現庁舎について、設備の機能維持を図るため、事業の妥当性を検証の上で大規模改修の設計に着手
7 多摩地域雇用就業支援拠点（仮称）	老朽化した現庁舎を移転・統合し、多摩地域の雇用就業支援を強化するため、事業の妥当性を検証の上で改築工事に着手
建設局	
8 河川水面清掃船	河川に浮かぶごみを回収する本船について、経年劣化により故障等が多いため、事業の妥当性を検証の上で新船を建造
港湾局	
9 葛西海浜公園	葛西海浜公園の指定管理業務について、妥当性を検証の上、海水浴体験業務を含めて一体化し、利用者サービスの向上と管理の効率化を実現
10 新客船ふ頭	近年のクルーズ需要増大等に対応し、東京港の賑わいを創出するため、妥当性を検証の上、ふ頭整備を着実に推進

局名・事業名**取組内容**

教育庁

- | | | |
|----|-----------------------------------|--|
| 11 | 都立小中高一貫教育校(仮称) | 都立高校改革推進計画に基づき世界で活躍する人材の育成のため、事業の妥当性を検証の上で学校新設に向け設計に着手 |
| 12 | 都立立川チャレンジスクール(仮称) | 様々な学習歴を抱える生徒に対し適切に高等教育を提供するため、事業の妥当性を検証の上で学校新設に向け設計に着手 |
| 13 | 都立南多摩地区特別支援学校(仮称) | 知的障害特別支援学校の在籍者数の増加傾向を踏まえ、事業の妥当性を検証の上で学校新設に向け設計に着手 |
| 14 | 大島海洋国際高等学校実習船 | 大島海洋国際高等学校の航海実習に使用する実習船について、老朽化のため、事業の妥当性を検証の上で代船を建造 |
-

警視庁

- | | | |
|----|------------------------|---|
| 15 | 三宅島警察署 | 老朽化・狭あい化した現庁舎について、警察機能の確保を図るため、事業の妥当性を検証の上で移転改築の設計に着手 |
|----|------------------------|---|
-

東京消防庁

- | | | |
|----|------------------------|--|
| 16 | 多摩消防署 | 狭あいな現庁舎について、防災機能の強化等を図るため、事業の妥当性を検証の上で現地にて改築工事に着手 |
| 17 | 本町待機宿舎 | 狭あいな現宿舎について、災害発生時の即応体制確保等の観点から、事業の妥当性を検証の上で現地にて改築工事に着手 |
| 18 | はしご車 | 火災等の際に高所からの人命救助を行うはしご車について、老朽化のため、事業の妥当性を検証の上で計画的に更新 |
-